



2021年8月4日

各 位

会 社 名 株式会社富士山マガジンサービス
代表者名 代表取締役社長 西野 伸一郎
(コード：3138、東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理グループ長 佐藤 鉄平
(TEL. 03-5459-7076)

2021年12月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年8月4日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年2月12日に開示した2021年12月期第2四半期（2021年1月1日～2021年6月30日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の第2四半期連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年6月30日）

(単位：百万円・%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,930	158	158	104	31円37銭
今回修正予想 (B)	2,890	225	225	145	45円45銭
増減額 (B-A)	-40	67	67	41	—
増減率 (%)	-1.4%	42.4%	42.4%	39.4%	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2020年12月期)	2,477	163	165	113	36.29

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、利益率の低い電子雑誌取次事業の連結売上高における貢献度の拡大、配送請負事業の収益性の悪化、マーケティング費用の増加、新規事業等

のための採用費、人件費増加等を想定し、連結予算を作成しておりましたが、主にマーケティング費用について、新規受注獲得よりもコスト最優先での費用投下に努めたことで費用発生を抑えることができたことにより、期初予算で開示した利益額に対し、30%以上の上振れが発生することが明らかとなりました。したがって2021年12月期第2四半期連結業績予想を修正いたします。

なお、2021年12月期連結業績予想につきましては、足元の業績は堅調に推移を続けているものの、新型コロナウイルス感染症によるEコマース需要の上昇に伴う物流倉庫の取り合い、物流倉庫における3密対策等によるコスト増に伴う配送収益の悪化の可能性、新型コロナウイルス感染症の第二波による当社の顧客である出版社、購読者への影響等、主に外部環境に起因するリスク及びその影響範囲が現時点において予測不可能であるため、現時点では保守的に予想を据え置き、予算修正が必要な状況になった場合には速やかに開示を行います。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上